

異常高温緊急情報 第3号（高飽差）

令和8年8月26日
新潟県農林水産部

8月25日に高温と著しい乾燥が発生
収穫期を迎えている「こしいぶき」は
胴割粒発生危険性大！

対応が必要な水稻	
品種	こしいぶき

気象状況

- 8月25日に高温と著しい乾燥が発生し、日平均飽差^注が、こしいぶきの胴割粒発生危険水準を超えました。

注）飽差は空気の乾燥程度を示す指標。数字が大きいほど乾燥程度が大きい。

当面の管理対策

- こしいぶきは、出穂後積算気温が900℃以上となったほ場で、籾の状態を確認し、籾黄化率が80～85%以上となっていたら、晴れ間に速やかに収穫してください。
- 収穫時の籾水分が低い場合は、日中は常温で通風乾燥を行い、点火は夜間等で気温が下がってから、送風温度を低めに設定（毎時乾燥速度が0.5%以下）し乾燥しましょう。
- 乾燥機に2段乾燥機能や休止乾燥機能があれば利用し、丁寧に乾燥してください。

暑い日が続いています。
熱中症と農作業事故に注意しましょう。

参考資料

8月25日 県内アメダス観測地点（12地点）における日平均飽差

アメダス 地点	村上	中条	新津	巻	三条	長岡
日平均飽差 (g/m^3)	5.5	5.4	5.5	5.0	7.3	6.2
判定※					○	○

アメダス 地点	柏崎	小出	十日町	高田	糸魚川	相川
日平均飽差 (g/m^3)	5.6	7.5	6.8	8.4	9.3	4.0
判定※		○	○	○	●	

※ 判定基準 ● : 9.0 以上 こしいぶき、コシヒカリ、新之助で胴割粒発生危険大

○ : 6.0 以上 9.0 未満 新之助で胴割粒発生危険大

なし : 6.0 未満 胴割粒発生危険小

日平均飽差は、日平均気温・日平均湿度から計算した値です。

過去のデータについては、下記ホームページに掲載しています。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nouen/r8inasaku.html>

飽差 (g/m^3) とは

1 立方メートルの空気中に、あと何グラムの水蒸気を含むことができるかを示す値のことで、空気の乾燥程度を表しています。この数値が大きいほど、空気中により多くの水分を含むことができ、湿りやすい状態であることを示します。

飽差と胴割粒の関係

胴割粒は、出穂後の高温や収穫期頃の乾燥、刈遅れ等で発生します。収穫期近くの籾水分が 22 % 未満に低下した時期に、飽差が高くなると胴割粒が急増することが分かっており、特に新之助で多発しやすいです。この時の飽差のめやすは、「こしいぶき」、「コシヒカリ」では $9 \text{ g}/\text{m}^3$ 以上、「新之助」では $6 \text{ g}/\text{m}^3$ 以上です。胴割粒の発生を抑えるため、出穂後積算気温 800 $^{\circ}\text{C}$ から飽差を確認し、籾水分が 22 % 未満に低下した以降に飽差が高くなった場合は速やかに収穫しましょう。

詳細は農業総合研究所研究成果「フェーン現象や乾燥による胴割粒の多発を抑制する早期収穫判断のめやす」を参考にしてください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/336549.pdf>